

第 22 回 氷川参道歩行者専用化検討協議会 (令和 5 年 9 月 14 日)

① 開催概要 (議事要旨)

日時	令和 5 年 9 月 14 日 (木) 10 時 00 分～11 時 00 分
場所	大宮区役所 6 階 601・602 会議室
出席者	<p>【学識】 ・埼玉大学 理工学研究科 教授 久保田 尚</p> <p>【交通管理者】 ・埼玉県警察本部 交通規制課 課長 風間 康男 (代理：課長補佐 佐々木 一郎) ・大宮警察署 交通課 課長 浦野 泰一 (代理：交通規制係長 萬年 克己)</p> <p>【道路管理者】 ・さいたま市 建設局 北部建設事務所 所長 藤巻 雄幸</p> <p>【沿線自治会】 ・吉敷町 1 丁目自治会 会長 関口 彰一 ・吉敷町 2 丁目自治会 会長 星野 弘 ・吉敷町 3 丁目自治会 会長 宮路 宣和 ・浅間町 1 丁目自治会 会長 土屋 剛 ・浅間町 2 丁目自治会 会長 宮野 豊之 ・大門町 3 丁目自治会 会長 逸見 裕一 ・仲町 3 丁目自治会 会長 岡部 昌寿 ・東町 1 丁目自治会 会長 小林 正利 ・下町明美会 会長 小笠原 恒夫</p> <p>【協議会】 ・氷川の杜まちづくり協議会 会長 小峯 政昭 ・ " 副会長 山田 とも子 ・ " 副会長 本島 紋次郎 ・ " 副会長 横山 好之</p>
欠席者	<p>【学識】 ・埼玉大学 理工学研究科 准教授 小嶋 文</p> <p>【沿線自治会】 ・大門町 3 丁目自治会 会長 逸見裕一 ・東町 1 丁目自治会 会長 小林正利 ・吉敷町 4 丁目自治会 会長 渡辺 タカ</p>
配布資料	・委員名簿、席次表 ・資料 交通実態調査・アンケート調査結果について ・参考資料 1 氷川参道周辺図 ・参考資料 2 氷川参道歩行者専用化検討協議会設置要綱



② 議題（議事要旨）

発言者	内容
(1) 議題	交通実態調査の結果について
(2) 議題	アンケート調査結果について
委員	・ アンケート調査結果について、町丁目別に集計は可能なのか。地区によって傾向が異なるのではないかな。
事務局	・ 居住地域を把握しているため集計は可能であり結果の確認を行いたい。
委員	・ 歩行者専用化への意見について、本来の歩行者専用化の目的も見据えながら個人的な要望を整理していく必要を感じた。 ・ 中区間の自転車について、マナーといっても人それぞれであり、明確にルールを示すことが必要であると感じている。自転車通行エリアを塗装等で明確にすることもあり得るのではないかな。 ・ 電動バイクのような乗り物で高速で走り去った状況も見したがそのような利用も問題である。
事務局	・ 新しく住まわれた方には氷川参道が 20 年かけて歩行者専用化に取り組んできた経緯を知らない方もいると考えられる。取組を皆様に伝えていくことは重要であり、自転車についても、路面標示等も重要であるが、啓発キャンペーン等で皆様と一緒に取り組んでいくことも重要と考える。
座長	・ 自転車の通行については、中区間は交通規制で歩行者は優先、自転車は徐行と道路交通法上のルールで決まっているがその周知が問題である。自転車通行エリアを明確にするとそのエリアでスピードを出して走行される可能性があり難しいと感じている。 ・ 電動キックボード等の新しい事態が生じている可能性もある。
委員	・ 電動バイク等は出力数によって規制されるため、場合によっては違反している可能性がある。
委員	・ 観光地のように石畳にして自転車が走りにくい環境とすることもあり得るかと思う。
座長	・ 中区間については、この場で議論して石畳風の舗装としており、北区間、南区間についても同様に考えていく必要があるかと思う。
座長	・ 吉敷町 2 丁目の中山道と氷川参道に挟まれた地域については、南区間の歩行者専用化によって出入りが困難になることが想定される。この地域の方と限定的な話し合いの場があった方が良いのではないかな。
委員	・ 実際に対象地域に住んで、歩行者専用化によって影響が生じる住民の意見も聞いていただきたいと思う。氷川参道側にしか車両が出られない駐車場もある。
座長	・ 吉敷町 2 丁目はマンション工事、引越車両等、出入りも多い状況であるため、地域の方に集まっていただいて話し合いの場を設けることをぜひお願いしたい。
委員	・ 町内は世帯数としては 1,200 世帯ほどあるが大半がマンション等であり、戸建ては 100 世帯程である。自治会加入も 3~4 割である他、マンションの方は 3 年程度の短期間で転居される方も多く、自治会としては運営の難しさを感じている。
座長	・ そのような場を作っていただいて、1995 年から活動されている参道の理想の話と個々の方の日々の暮らしと両立させる方法をぜひ作っていただきたいと思う。

発言者	内容
(3) 議題 交通シミュレーションについて	
座長	・ 吉敷町等での話し合いの結果を交通シミュレーションに反映することは可能なのか。
事務局	・ 実施時期にもよるが、検討していきたいと考えている。
委員	・ 南区間を歩行者専用化した場合、吉敷町3丁目に迂回が生じる可能性が高い。3丁目の方にも意見を聞いた方が良いのではないか。
事務局	・ 吉敷町3丁目についても検討していきたいと考える。
委員	・ 吉敷町3丁目には狭い道路であっても両側通行や、広くても片側通行などがあり、地域の意見を聞きながらそのような規制についても今後検討する必要があると感じている。
座長	・ 影響がありそうな方々のご相談いただきながらシミュレーションを進め、ケースについても少し柔軟に皆さんのご意見を踏まえた形で進めていただければと思う。
(4) 議題 社会実験、オープンハウスについて	
座長	・ オープンハウスは1日を想定しているのか。
事務局	・ 1日実施してみて、可能であれば毎月開催等も検討したいと考えている。
委員	・ アンケート調査を実施する際に、許容量のある意見なのか絶対的な意見なのか意見をまとめていく上では見極める必要があるかと思う。
委員	・ 休日の観光で来訪している方に調査しても歩行者専用化に賛成の意見が多くなるように感じる。
事務局	・ 対象としては地元の方を想定しており、実際に住んでいる方の生の意見というのを聞く機会ということでやっていきたいとは思っている。実施の際に居住地は把握したいと考えている。
座長	・ 社会実験のメニュー例で氷川参道沿いに住んでいる方の通行を保証する方法として一般車両の通行止め方法とあるが、具体的にどんな方法を想定されているのか。
事務局	・ 社会実験であり、カラーコーンやガードマン設置により関係者だけ入れる形になるかと考えているが具体的なやり方は引き続き検討していきたいと考えている。
(5) 事務局より連絡	
—	・ 次回 2023 年 1 月下旬頃を想定している。

以上